安 全 デ ー タ シ ー ト

１．化学物質等及び会社情報

製品名：チタン系合金線
チタン合金線、その他

会 社 名：　日本精線株式会社
住　　所：　〒541-0043　大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号(興銀ビル9F)
担当部門 ：　下述
連 絡 先：　大阪支店　TEL 06-6222-5433　FAX 06-6222-2439
東京支店　TEL 03-5203-1645　FAX　03-5203-1648
名古屋支店　TEL 052-219-5121　FAX　052-219-5123
海外部　TEL 06-6222-5434　FAX　06-6222-2439
緊急連絡先：　同上

２．危険有害性の要約

本製品は一般的な環境下では安定であり、有用な物理的、化学的な危険有害性情報を有していない。
ただし溶接や溶断の際はヒューム、研磨や研削の際は粉じん、酸洗の際はガスが発生し、呼吸器、眼、肌などを刺激する場合がある。

□GHS分類

健康に関する有害性						
有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報	成分	注意書き(安全対策/応急処置/保管/廃棄)	ｼﾝﾎﾞﾙ	注意喚起語
1.急性毒性	分類できない	－	－	－	－	－
2.皮膚腐食性/皮膚刺激性	－	－	－	－	－	－
3.眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	－	－	－	－	－	－
4.呼吸器感作性	区分1	吸入するとｱﾚﾙｷﾞｰ、喘息、または呼吸困難を起こすおそれ(H334)	Ni Co	P261,P284/P304+P340,P342+P311/-/P501		危険
4.皮膚感作性	区分1	ｱﾚﾙｷﾞｰ性皮膚反応を起こすおそれ(H317)	Ni Co	P261,P272,P280/P302+P352,P333+P313,P321,P362+P364/-/P501		警告
	区分 1A	ｱﾚﾙｷﾞｰ性皮膚反応を起こすおそれ(H317)	Cu	P261,P272,P280/P302+P352,P333+P313,P321,P362+P364/-/P501		警告
5.生殖細胞変異原性	－	－	－	－	－	－
6.発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い(H351)	Ni Co	P201,P202,P280/P308+P313/P405/P501		警告
7.生殖毒性	－	－	－	－	－	－

次葉に続く

前葉より

健康に関する有害性						
有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報	備考	注意書き(安全対策/応急処置/保管/廃棄)	ｼﾝﾎﾞﾙ	注意喚起語
8.特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1	臓器の障害(呼吸器、腎臓)(H370)	Ｎｉ	P260,P264,P270/P308+P311,P321/P405/P501		危険
		臓器の障害(消化器)(H370)	Ｃｕ			
		臓器の障害(呼吸器)	Al			
	区分3	呼吸器への刺激のおそれ(気道刺激性)(H335)	Cu Co	P261,P271/P304+P340,P312/P403+P233/P405/P501		警告
9.特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器)(H372)	Ni Al	P260,P264,P270/P314/-/P501		危険
		長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器、心血管系、甲状腺、血液系)(H372)	Co			
		長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(肝臓)(H372)	Ｃｕ			
10.誤えん有害性	分類できない	－	－	－	－	－

環境に関する有害性						
有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報	備考	注意書き(安全対策/応急処置/保管/廃棄)	ｼﾝﾎﾞﾙ	注意喚起語
11.水生環境有害性(急性)	－	－	－	－	－	－
11.水生環境有害性(長期間)	－	－	－	－	－	－
12.オゾン層への有害性	－	－	－	－	－	－

※上記に記載がない危険有害性は、区分外、分類対象外、または分類できない。

□ラベル要素

◇絵表示又はシンボルは、 前述の表中に示す。

◇注意書きとコードを以下に示します。

	注意書きとコード
安全対策	P201:使用前に取り扱い説明書を入手すること P202:すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと P260:粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと P261:粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること P264:取り扱い後は接触部位をよく洗うこと P270:この製品を使用するときに飲食又は喫煙をしないこと P271:屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 P272:汚染された作業衣は作業場から出さないこと P280:保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること P284:換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること

次葉に続く

前葉より

	注意書きとコード
応急処置	P314:気分が悪いときは医師の診察/手当てを受けること P321:特別な処置が必要である P302+P352:皮膚に付着した場合、大量の水で洗うこと P362+P364:汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること P304+P340:吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 P342+P311:呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること P308+P311:ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること P308+P313:ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること P333+P313:皮膚刺激又は発しんが生じた場合:医師の診察/手当てを受けること
保管	P405:施錠して保管すること P403+P233:換気の良い場所で保管すること　容器を密閉しておくこと
廃棄	P501:内容物/容器を国際、国内、自治体等の法、規則に従い廃棄すること

３．組成及び成分情報

単体/混合物の区分:　混合物(合金線)

成　分 ※1		注記 ※2	含有量 (Wt%)	CAS 番号	化管法政令番号	安衛法政令番号
ニッケル	[Ni]	1),2)	0～60	7440-02-0	1-308	418
銅	[Cu]	2)	0～10	7440-50-8	-	379
アルミニウム	[Al]	2)	0～5	7429-90-5	-	37
コバルト	[Co]	1),2)	0～2	7440-48-4	1-132	172
鉄	[Fe]	-	0～5	7439-89-6	-	-
チタン	[Ti]	-	残	7440-32-6	-	-

※1 成分

合金成分として使用する。

ただしニッケル、銅については合金成分以外に線表面のメッキとして使用する場合がある。

※2 注記

1)　PRTR 法指定化学物質(第一種、第二種、特定一種指定化学物質)

2)　労働安全衛生法の表示・通知対象物質。

その他

製品仕様によっては表面に微量の油分等を使用する場合がある。

４．応急措置

前述2項を参照すること。

５．火災時の措置

本製品は一般的な環境下では安定した固体であり、周辺の火災発生時の消火器や散水による消火活動において特に制約はない。

６．漏出時の措置

一般的な環境下では安定な固体であるため漏出の恐れはないが、溶接、溶断、切断、研磨などの加工により発生するヒューム、粉じんなどに対しては以下の処置を行う。

[人体に対する注意事項]

適切な保護具を使用して粉じん、ヒュームなどの吸入や眼への侵入を防ぐこと。

[保護具及び緊急時措置]

保護マスク、保護メガネ、作業服着用により吸引、眼への侵入、皮膚への付着を避けること。

[環境に対する注意事項]

粉じん、ヒュームは適切に回収、廃棄し環境汚染を防止すること。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]

粉じん、ヒュームなどは、適切な手段、設備を用いて回収すること。

7．取扱い及び保管上の注意

(1)本製品を取り扱う場合、呼吸器、皮膚、眼、及び身体を保護するため、適切な保護具を着用すること。
(2)本製品を、加熱、溶融、切削、研磨等の加工を行ない、粉じん・ヒューム等が発生する場合は、装置の密閉化あるいは排気を十分に行なう等、身体へのばく露を防止すること。
(3)加熱の影響による生成物など製品の状態変化に関しては十分に注意し適切な対処を行いながら作業すること。
(4)本製品を保管する場合、施錠して保管すること。粉じん状態での保管は飛散しないようにカバー等で覆うこと。

8．暴露防止及び保護措置

適切な個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

9．物理的及び化学的性質

外　　観 :特殊鋼金属(線)（固体）
引 火 点 :該当なし
融　　点 :1000～1800℃
比　　重 :4～7
化学的性質:水には不溶。弱酸及びアルカリにはある程度の耐食性がある。強酸(塩酸、硫酸等)、高温アルカリには多少溶解する。酸化性酸で不動態被膜が形成される。

10. 安定性及び反応性

安　定 性　　:一般環境下でほぼ安定している。
有害分解物質 :加熱、溶解、溶融、溶接、切削、研磨等の加工時には金属化合物、粉塵、ヒューム等が生成する場合がある。また酸洗などにより有害なガスが発生する可能性がある。
避けるべき条件 :酸、アルカリ等の腐食性ガス、ミスト、液体との接触、高温溶解など
混触危険物質 :明確な知見なし。

11. 有害性情報

前述2項を参照

12. 環境影響情報

前述2項を参照

13. 廃棄上の注意

前述2項を参照。本製品、端材、切断屑等、及び、梱包材を廃棄する場合、国際、国、都道府県、又は、市町村の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

ステンレス鋼線として該当する事項はない。

15. 適用法令

労働安全衛生法
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

16. その他の情報

◇参考資料
(1)独立行政法人　製品評価技術基盤機構　ホームページ
(2)経済産業省、厚生労働省　-GHS対応-　化管法、安衛法、毒劇法におけるラベル表示・SDS提供制度
(3)JIS　Z7253　2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS)」
(4)JIS　Z7252　2019「GHSに基づく化学品の分類方法」

◇その他

この安全データシートは、現時点で入手可能な資料やデータを用い、本製品をご使用いただく各事業者様に安全にご使用いただくための参考資料として作成し配布するものです。
本紙の作成、制定に於きましては十分な配慮を行っておりますが、得られた情報は必ずしも十分でないことが想定され、また知見の及ばない不測の危険性が存在する場合なども考えられます。従って本誌にて本製品の安全性を保証することはできません。
あらためて、製品のご使用においてはご使用者様の責任において適切な処置の下で安全等の確保をお願いします。

以上